

# 効果的な保健指導の実践と質の向上を目指す

📅 6月6日 火の国ハイツ

## 平成25年度生活習慣病重症化予防事業・第1回実践学習会

飯田女子短期大学非常勤講師の熊谷勝子氏を講師に迎えて開催。県内保険者の事務職と保健師、栄養士など約210人が参加した。

本会では、これまで行ってきたデータ分析結果などから、熊本県は生活習慣病の重症化予防が保健事業における最重要課題と位置付けて、各種事業（学習会など）を実施し、保険者を支援していくことにしている。

その一環として、この実践学習会は、第2期特定健診等実施計画を基に効果的な保健指導の実践と質の向上を目的として、今年度4回開催する予定。

第1回となる今回は、熊谷氏が医療や健診データを基に熊本県の置かれている現状を明確にし、健診結果から「まずはハイリスク者への保健指導を徹底することが重要」と解説した。また、ポピュレーション学習として、熊本の食の実態を交えながら、“一人一人、体に合わせて食事が決まっている”ことを住民にどのように伝えていくかを学習した。

📅 6月7日 火の国ハイツ

## 平成25年度生活習慣病重症化予防事業・第1回保健指導充実に向けた検討会

上述の実践学習会と同じく、熊谷勝子氏を講師に迎えて開催。県内の14モデル市町村から保健師や栄養士など約80人が参加した。

この検討会は、医療保険者が、住民に健康問題を自分のこととして捉えてもらい、将来的には「生活習慣病に起因する医療費の減少」という目標を達成するために、健診・保健指導計画を住民のものにする方法を検討し、住民資料の作成につなげ実践に生かしていくことを目的として、今年度4回開催する予定。

モデル市町村は、リーダーを中心に意欲的に実践している保険者を、県内10圏域から1市町村ずつ入るように選定した。



講師の熊谷勝子氏



上記学習会・検討会ともに、今後の開催予定は9月、12月、来年3月となっている。

# 審査委員69人に委嘱状を交付

📅 6月18日 マリエール神水苑

## 熊本県国民健康保険診療報酬審査委員会委員委嘱状交付式

熊本県は、保険医・保険薬剤師代表、保険者代表、公益代表の69人（うち15人が新任委員）に診療報酬審査委員会委員を委嘱し、それぞれの代表者に、白濱良一熊本県健康局長から委嘱状が交付された。

続いて、白濱局長があいさつに立ち、委員就任に対する謝辞を述べるとともに、適正な保険請求の審査に向けてさらなる協力をお願いした。

その後、審査委員会合同会議に移り、会長職や各部会委員の選出などの協議が行われた。なお、審査委員の任期は2年間（平成27年5月末まで）となっている。

## 活用法や出力帳票、稼働スケジュールなどを説明

📅 6月19日 火の国ハイツ

### 国保データベース(KDB)システム説明会

県内保険者の国保事務担当者や保健師などを対象に開催し、約130名の参加があった。

この説明会は、KDBシステムの開発元である国民健康保険中央会から担当者を招いて開催したもので、まず、鎌形喜代実参与から、システムの概要や活用法、出力帳票などについて、次に、企画・保健部国保データベース推進室運用情報課システム課の菅原久美係長から、今後のスケジュールや地区割りマスタ、個人情報保護などについて、それぞれ説明があった。スケジュールに関して、機能改善のために出力帳票の一部見直しや提供時期の変更を行うことなどが示された。

説明後には意見交換の時間を設けたが、同システムについて県内の保険者が国保中央会から直接説明を受ける機会は今回が初めてで、運用開始予定が3カ月後に迫っていることもあり、次々と意見や質問が出された。

質問でも上がっていた操作説明会について、国保中央会では、10月本稼働前までに国保連合会向けに開催する予定ということで、本会でも、その説明会を受けた後に保険者向けに開催する方向で考えている。



## 保険者協議会及び各専門部会の実施事業や事業計画などを承認

📅 6月17日 水前寺共済会館

### 平成25年度熊本県保険者協議会第1回医療費分析部会

県内の各医療保険者から代表者が出席して開催。

園川太郎部会長（全国健康保険協会熊本支部企画総務部保健グループリーダー・全国健康保険協会代表）を議長に審議し、すべて原案どおり承認された。

協議事項は次のとおり。

1. 平成24年度事業報告
2. 平成25年度事業計画
3. その他

議案第2号で、平成25年度は23年度特定健診データの集約及び分析を行うことを決定した。

📅 6月25日 水前寺共済会館

### 平成25年度第1回熊本県保険者協議会

北岡宏二郎会長（熊本市健康福祉子ども局次長・国民健康保険代表）を議長に審議し、すべて原案どおり承認された。

協議事項は次のとおり。

1. 平成26年度集合契約にかかる契約代表保険者の選定
2. 平成24年度事業報告（本会・各専門部会）
3. 平成24年度会計歳入歳出決算

議案第1号で、平成26年度の集合契約代表保険者を健保連熊本連合会に決定した（25年度は協会けんぽが担当）。



📅 6月28日 市町村自治会館

### 平成25年度熊本県保険者協議会第1回保健事業部会

川俣忍部会長（山鹿市健康増進課審議員・国民健康保険代表）を議長に審議し、すべて原案どおり承認された。

協議事項は次のとおり。

1. 平成24年度事業報告
2. 平成25年度事業計画
3. 特定健診啓発資料配布について
4. 特定健診・特定保健指導担当初任者研修会について

議案第4号で、今年度2回（8月と11月頃を予定）実施する研修会のうち、2回目では初回面接時のポイントを中心とした保健指導の力量形成につながる内容とすること、また、研修会とは別に医療費分析部会と合同の学習会を開催することを決定した。

## 審査担当職員の資質向上を図る

📅 6月28日 市町村自治会館

### 画面審査システムを利用した高点数の二画面による事務共助研修会

本会では、平成21年から国保診療報酬レセプト審査において二画面審査を実施している。今後、審査査定率の目標達成に向けて、各種システムを活用した効率的・効果的な取り組みに加え、担当職員の技能向上が重要であることから、国民健康保険中央会の審査部審査管理課森田課長補佐、みずほ総合研究所のシステムエンジニア近藤氏を講師に招いて研修会を開催した。

審査管理課と医科審査課職員合わせて約40人が受講し、特別審査のレセプト事例、高点数二画面による症状詳記の読み方・見方、個人抽出による活用方法などについて、実際にパソコンを使いながら操作方法を確認した。

質疑応答では、再手術の算定、薬剤の適応量の範囲と使用期間、DPCの取り扱いなどについて、熱心に質問が出されていた。

